



©2010熊本県くまモン

<<発行>>2026年6月
 熊本県東京事務所
 くまもとセールス課
 〒104-0061
 東京都中央区銀座5丁目3-16
 銀座熊本館3階
 ☎03-3572-5021

～熊本の洞窟～

梅雨の時季でも雨をしのいで過ごせる県内の洞窟を一部ご紹介いたします。

【1】球泉洞〔球磨村〕

昭和48年(1973年)に愛媛大学学術探検部によって発見された「球泉洞」は、九州本土最大級の鍾乳洞で全長は約5,000m。約3億年前に海中にあった石灰岩層が隆起し、少しずつ浸食を受けながら現在の形になったと考えられ、浸食は今なお続いています。探検可能なコースとして、約30分かけてゆっくり見ることができる「一般コース」とヘルメット・長靴を装着して地底200mまで約60分かけて見ることができる「探検コース」が用意されています。

入場料：〔一般コース〕大人 1,100円 中学生 800円 小学生 600円 幼児 450円

〔探検コース〕大人 1,900円 中学生 1,600円 小学生 1,400円

営業時間：9:00～17:00（最終入洞【一般】16:30、【探検】16:00）

定休日：無休（天候によって臨時休業の可能性あり）※年末年始休業あり（問）球泉洞 0966-32-0080



球泉洞入口

【2】霊巖洞〔熊本市西区〕

熊本市の西方、金峰山の麓にある「霊巖洞」は、曹洞宗・雲巖禅寺の裏山にあり、洞窟内には岩戸観音の名で知られる観音像が安置されています。晩年の5年間に熊本で過ごした剣豪・宮本武蔵がこの洞窟に籠り、兵法書「五輪書」を記した話は有名です。雲巖禅寺には武蔵が佐々木小次郎との決闘時に使用した木刀も保存。全国から多くの宮本武蔵ファンが訪れます。

入場料：大人 300円 高校生 200円 中学生以下 100円

入場可能時間：8:00～17:00

（問）霊巖洞 096-329-8854



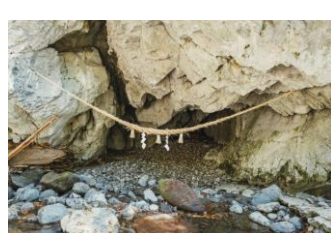
霊巖洞

【3】穿（うげ）の洞窟〔山都町〕

熊本県の山間部に位置する山都町のそのまた奥地にひっそりとたたずむ穿の洞窟は、まさに秘境の鍾乳洞。全容はまだ明らかになっておらず、洞窟内の道は日向の国まで続いているとの伝説があります。洞窟の手前には穿神社があり、毎年11月3日には祭礼が行われます。同時期に洞窟のある「緑仙峡」一帯ではもみじ祭りも開催されます。

※ 現在洞窟の中には入れません。

（問）山都町商工観光課 0967-72-1115



穿の洞窟

【番外】黒川温泉・新明館の洞窟風呂〔南小国町〕

新明館3代目館主が自らノミでコツコツ掘った洞窟風呂は、黒川温泉の名物風呂の一つになっています。洞窟風呂に立ち込める蒸気で、サウナ効果も楽しめます。

黒川温泉では、25軒の旅館の中から好きな3軒の旅館の露天風呂、もしくは2軒の露天風呂+飲食またはお土産購入1つに使える「入湯手形」を温泉旅館組合「風の舎」や各旅館で販売しています。（有効期限6カ月）

新明館入浴可能時間：10:30～15:00（最終受付 14:30）

入湯手形代金：大人 1,500円 小人(3歳以上小学校6年生まで) 700円

※ 新明館単独入浴の場合 500円。外来客入浴不可の日あり。

（問）黒川温泉観光旅館協同組合 0967-44-0076



新明館の洞窟風呂

今月の市町村！宇土市

今月は日本の渚100選にも選ばれている御輿来海岸をはじめ、特徴ある観光スポットが多い宇土市をピックアップ！

◆御輿来（おこしき）海岸

「日本の渚百選」「夕陽百選」に選ばれた御輿来海岸は干満の差が大きい有明海の中でも特に風紋の出現が美しいスポット。干潮と夕陽と重なりオレンジ色に染まる時間は息をのむ美しさです。景行天皇が九州征伐の際この地を訪れ、あまりの美しさに御輿をとどめたことがこの名前の由来とされています。

※干潮と日の入り時刻は「宇土市観光物産協会」のHPで確認出来ます。



御輿来海岸

◆長部田海床路（ながべたかいしょうろ）

干潮の差が激しいこの海域で、干潮の時でも漁に出られるようにと造られた道。干潮時には海の中から道が現れ、潮が満ちると海中に道が消えるため、電柱だけが海の中へ続く不思議な光景をみることができます。訪問のお勧め時間は干・満潮時の前後2時間です。近くの住吉海岸公園には、漫画「ONE PIECE」のキャラクター「ジンベエ」像が設置されています。



長部田海床路

◆轟（とどろき）水源と轟泉（ごうせん）水道

轟水源は環境省選定の「日本名水百選」に選ばれ、水源一帯は轟泉自然公園として整備され、市民に親しまれています。

寛文4年(1664年)にこの水源から城下町中心部まで4.8kmもの土管を繋ぐ大工事を行い、人々の生活を潤しました。現在も80戸余りの市民が生活用水として利用しており、現存する日本最古の上水道です。

(問) 宇土市商工観光課 0964-22-1111 (代表番号)



轟（とどろき）水源

◆西岡神宮

創建は約1,300年前。毎年10月19日には秋季大祭を開催。甲冑に身を包んだ武者行列や神輿が街を練り歩き、獅子舞や流鏝馬などが奉納されます。銅鑼と鉦の音があたりに響き、一帯が華やかな雰囲気になります。

神社では、重さ8.5kgの箱を振っておみくじ棒を出す日本一の大きさ「大海運おみくじ」を引くことが出来ます。

(問) 西岡神宮 0964-22-1824



日本一大きいおみくじ

お知らせ

◆2階「Asobi-bar」6月臨時休業日のお知らせ

2階の「Asobi-bar」は、6月の毎週月曜日・火曜日と第1週の土曜日を臨時休業といたします。2階フロアの「くまモングッズコーナー」と「観光情報コーナー」は通常どおり営業しております。お客様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

